



多くの学生が参加した法学部学生大会＝6月18日午後、以学館1号ホール

学生大会

今年度は全ての大会で成立

各学部自治会にて開催

6月17日から19日に、衣笠で各学部自治会の学生大会が開催された。各大会では教学の面で、受講登録期間の延長や講義内容の是正などが要求された。また一部では、全面禁煙の再検討なども採択に盛り込まれた。全ての大会は規定人数を満たし、可決成立した。

6月17日に行われた文学部学生大会では「要求事項として外国語教育の各授業における課題の量の統一、資格取得に必要な講義が抽選科目であることの改善など教学面での改善が多

く要求された。加えて、例年通り学部基本棟・清心館のラウンジや教室設備の改善について取り上げられた。さらに「規約改正も採択に盛り込まれた。今年度の同大会は規定人数を満了し、成立に至った。

18日に開かれた法学部学生大会は、541人の定数を大幅に超える794人が参加し成立した。教学や施設、課外活動についての要求があった。法学部系サークル連絡会議からの要求もあった。

法学部自治会委員長・八木敦史さん(法2)は「誘導の不備や円滑な議事進行などの来年度への課題はあるが、無事成立してよかった」と総括した。

同日、産業社会学部学生大会が行われた。教学面では長年問題となっている授業内私語の改善に向けた、

学部統一指導基準の設定などが要求された。学生生活の面では「全面禁煙の弊害を指摘し、全面禁煙緩和・シエラター解放または代替措置の実行が要求された。そのほかには市バスの増便、他大学の社会学部に比べて高い学費の値下げ、留学生と日本学生の交流のための「グローバルコミュニケーションラウンジ」の設置などが要求された。

映像学部学生大会では、「映像制作費の削減」として来年度の「映像制作費」を削減する必要があると報告された。

部・定期代表委員会が行われた。「教学課題」では外国語科目および専門外国語科目でのクラス選択制導入などが要求された。「課外課題」としては留学への金銭面での支援を多様化することなどが要求された。その他には奨学金制度を再評価すべきなどの要求がされた。またGS(主に留学生を対象とした、英語のみで学位取得ができる課程)学生へのカウンセリಂಗななどのサポート充実の必要性も報告された。



発行所 立命館大学新聞社
発行人 齊藤 颯志
〒603-8577 京都市北区等持院北町
56-1 立命館大学学生会館2F
直通 075(465)8253
内線 2610
〒525-8577 草津市野路東1-1-1
立命館大学セントラルアーク4F
e-mail so0379xr@ed.ritsumei.ac.jp

料理工房
ホワイトファミリー
Catering & Restaurant

0322-9999
〒601-8304 京都市南区西九条河原町33
fax322-2999
URL:http://www.wf9999.com

7月号

今月の紙面

- 就職決定率上昇……2面
- 自転車の盗難対策……3面
- 「太陽花学連」と大学生……4面
- 全日本大学野球出場……5面

海神

長野県に伝わるある昔話がある。ある村の夫婦が空を見上げていると、天から2匹の虫が1枚の木の葉に乗って落ちてきた。背には馬のひづめのような模様があり、馬のように葉を食べた。美しい糸を吐くこの虫は大切に育てられ、村中に広められた。養蚕の始まりである▼6月21日、群馬県にある富岡製糸場と絹産業遺産群の4施設が世界文化遺産に登録された。先の製糸場は日本初の官営製糸工場として名を馳せ、全国から女子工員が集まった。当時としては群を抜く生産力を誇り、西洋れんがと日本瓦を混交した建築様式でも注目を浴びた▼製糸業を題材にした映画「あゝ野麦峠」では、製糸工場で働く娘たちの過酷な労働の様子が描かれている。しかし、富岡製糸場はそんな劣悪な環境とは無縁だったらしい。1日8時間の労働時間、週休日8時間、年末年始と夏季の各10日間の休みが設けられ官営の労働環境としては目を引くものがあった▼「古都京都の文化財」の世界遺産登録から20年を迎えた。景観保全の取り組みが進む中、財政難による土地売却やマンション建設の動きもみられる。京都市は世界遺産周辺の建物の高さや広告物の制限に余念がない。また、景観保護用に緩衝地帯を設けている。世界遺産登録がゴールではないことを痛感する▼来場者数急増により、混雑が見込まれる富岡。地元発展と観光振興との折り合いが必要不可欠である。富岡市の今後の動向に期待したい。(小林紀貴)

薬学部 創薬科学科新設 2学科体制に



薬学部の基本棟であるサイエンスコアII 6月19日、BKC

6月、立命館大は薬学部創薬科学科(4年制・定員60人1学年)の設置を文部科学省に申請した。これにより、来年度から薬学部は薬学科と創薬科学科の2学科体制となる。

創薬科学科設置は、医療系人材だけでなく、創薬系の人材の育成にも貢献し、多彩な人材を輩出することを目的としている。創薬科学科のキャリアアップの大きな特徴は少人数ク

ラスによる演習科目と専門英語教育である。少人数クラスで開講される「創薬科学基礎演習」や「創薬研究概論」はコミュニケーションスキルと医療に携わる者に必要な倫理観を身に付けることを目標とする。

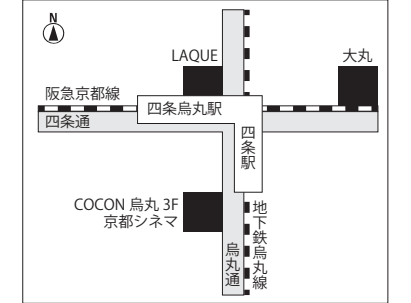
専門英語教育では「プロジェクト発信型英語教育プログラム」を導入する。このプログラムは先端的な研究をテーマとし、その成果を英語で発表し、実践的な英語力を養成するというものだ。卒業論文や修士論文による発表も英語を基本とする。

また大学院進学に向けての研究指導にも力を入れる。同大薬学部事務室の藤井通成さんは「プロジェクト発信型英語教育と大学院進学を見据えた研究指導により、国際的にも活躍できる創薬人材の輩出を目指す」と話す。

これらのカリキュラムにより、研究者としての倫理観や国際社会でも通用する高い英語力を身に付けることが可能。予想される進路としては製薬・化学・食品系企業の研究者、開発者および製薬企業の医療情報担当者(MR)などがある。

薬学科と創薬科学科の2学科体制により、さらに充実した薬学教育が期待できそうだ。

京都シネマ



四条烏丸下西側COCON烏丸3F
阪急京都線「烏丸」駅下車23番出口よりすぐ
市営地下鉄烏丸線「四条」駅下車2番出口よりすぐ



サンシャイン
歌声が響く街
配給：ギャガ
8月1日(金)公開



グレート・ビューティー
追憶のローマ
配給：トランスフォーマー
8月23日(土)公開



なまいきチョルベンと
水夫さん
配給：クレストインターナショナル
8月2日(土)公開

大学生以下：¥1,000
TEL: 075 (353) 4723

www.kyotocinema.jp/

「映画館とは? 地域の中の役割」プロジェクト